

## <子宮体がん地域連携パス改訂版の変更点について>

子宮体がんパスについて診療実態に合わせて、以下の点について変更・改訂します。

### 1) 診療スケジュールの見直し

- ① 退院後5年までのフォローを10年まで延長
- ② 退院後2年目以降の受診間隔を変更
  - ・2～5年は連携医療機関と計画策定病院を交互に6か月毎に受診
  - ・その後は6年目、8年目、9年目に連携医療機関を受診
  - ・7年目、10年目に計画策定病院を受診

### 2) 連携計画中「検査」の診療項目を修正

- ① 各項目を見直し、簡略化
  - ・「臍断端細胞診」を削除
  - ・「腫瘍マーカー」を「採血」に変更
  - ・「造影CT(腹部)」「胸部XP/CT」を「CT」として統合
- ② 「CT」の診療スケジュールを変更
  - ・6ヶ月目の検査項目にCT撮影の実施を追加
  - ・6年目以降のCT撮影は放射線被爆も考慮し任意とした

### 3) 「6-1 説明文(医療者用)」を修正

- ① 「(1) 対象患者」の記載
  - ・「原則、骨盤内リンパ節郭清術実施症例」を「骨盤内リンパ節郭清の有無は問わない」に変更
- ② 「子宮体がん治療基本情報」中「入院中の経過」欄
  - ・術式に「開腹手術」「腹腔鏡下手術」「ロボット支援下手術」の3項目を追加
  - ・「骨盤リンパ節郭清」のチェック項目に「生検のみ」を追加

### 4) 上記1)～3)の修正に伴い、連携ノートに対応箇所を修正

以上